

和田公民館だより



…森と湖のグリーンシャワーの里…

# れい明

第 275 号

発行・周南市和田公民館  
TEL 0834-67-2069  
FAX 0834-67-2019

## 学級教室

### チャレンジセミナー



とき 5月14日(水)10時  
ところ 和田公民館  
内容 花作り教室  
講師 米沢園芸 田村修専務  
参加料 1,000円

### あけぼの学級



とき 5月15日(木) 9時30分  
ところ 和田公民館  
内容 裁判員制度について  
講師 山口地方検察庁職員

## 第20回高瀬の旬をクイーン祭



さて今年のクイーンはどなたに  
4月20日高瀬の里で開催

## 第一回和田ユースポーツ大会の結果

3月20日に開催の結果は次のとおりです。参加やご協力の皆さん、ご苦労さまでした。  
尚、グラウンドゴルフ及びクロリティーの2種目を実施する予定でしたが、グラウンドコンディション不良のため、クロリティーのみ実施。アレンジQを公開競技としました。



### 【子供の部】

- 第一位 藤井雅剛(西広沢)
- 第二位 原 佑輔(米光団地)
- 第三位 廣瀬玄修(米光団地)

### 【大人の部】

- 第一位 藤岡和夫(清水)
- 第三位 有井秀清(大原)
- 第三位 原真樹(平木)
- 敢闘賞 神田浩二(米光団地) 岸本洋子(平木)



クロリティー

### 【イベント内容】

子ども釣り大会、魚のつかみ取り、各賞の選出・表彰、高瀬八十八ヶ所巡り、竹の子狩り、竹工作教室、ゲーム、コンニャクづくりの体験会、もちまき大会、島地川ダム見学ツアーミニコンサート(島地川ブルース披露)、ミニ動物園など。

### 【ハザー】

高瀬茶販売試飲及び新茶予約、たこ焼、高瀬まんじゅう、ケーキ、コンニャク、野菜などの特産品や山菜うどん、たぎこみご飯、やまめの塩焼き、焼鳥、やき芋、手芸品、茶店ジュースなど飲食品類の販売。

ニ きんさい、見んさい、食いんさい!!ニ

### ◎ 行事 ☆グループ活動 の予定 (4月16日～5月15日)

- ◎自治会和田支部総会 22日(火)
- ◎高瀬の旬をクイーン祭 20日(日)
- ◎和田地区社協総会 25日(金)
- ◎和田の里づくり推進協 25日(金)
- ◎市老連和田クラブ総会 17日(木)
- ◎ 和田慰霊祭 18日(金)

- ※チャレンジセミナー 14日
- ※あけぼの学級 15日
- ※習字 10日
- ☆俳句 9日
- ☆囲碁 22日、13日
- ☆生け花 26日、10日

- ☆ピンポン 19・26日、10日
- ☆健康体操(クリナリ) 21日、12日
- ☆コーラス 28日
- ☆NFC 17日、8日
- ☆英語 17・24日、1・8・15日





ふるさとを愛し、心豊に  
生きる児童の育成

和田小学校

平成二十年年度、和田小学校は、一年生七名を新たに  
加え、児童八十五名、教職員十一名でスタートしました。

ふるさと和田を愛し、主体的に学び、心豊に生きる力を求める「地域にキラリ輝く子」の育成をめざします。

また、本校では確かな学力の定着と今の時代に必要  
な人間的資質を培っていくよう努力しています。  
温かいご支援、協力をよろしくお願いいたします。

- 校長 西村昭彦
- 教頭 青木朱美(転入)
- 一年 中村孝子
- 二年 勝間田寿美子
- 三年 橋本克巳
- 四年 田中加奈子
- 五年 藤本哲雄
- 六年 兼石敏江(転入)
- 専科 高市良乗
- 養護教諭 野村妙子(転入)
- 主任主事 峯重利恵

学力向上プランの実践

共に高まりあう仲間づくり

自主性を促す自治活動



和田中学校

平成二十年年度、生徒数四十五名(一年十六名、二年十四名、三年十五名)でスタートしました。

今年度は、  
一 自主勉強を毎日続け、学習習慣を身につけよう  
二 お互いを大切にし、共に高まりあう仲間づくり  
三 一つ一つのことをやり抜き、結果を出そう  
の三つのチャレンジ目標のもと、学力・仲間・自治の  
和田中学校をめざします。

- 校長 原田篤志
- 教頭 篠原 隆
- 教務主任 林 浩司
- 一年 蔵重俊之
- 二年 松原正典
- 三年 藍澤一陽(転入)
- 三年副 藤井律子
- 3年副 岸川憲治
- 講師 小松雅代
- 講師 兼重斉子(転入)
- 養護教諭 松田キミ子
- 事務主任 古川寿美江

「田戸石風呂」にまつわる話

故(渡辺幸一氏)から由来話を聴いていたことを、記憶の中から記してみました。

◎ 田戸の石風呂が作られた話  
その昔、重源上人(俊乗坊重源)が、奈良東大寺の再建に際して、滑の官林(現徳地八坂と柚野の国有林)から、桧や松の用材を切つて佐波川(八坂)三田尻港を筏を組み、関を作り流して運んだことは、今も語り継がれている有名な話である。(この時代、建久元年(一〇九〇)〜一一九五)年(六)から八〇年前の事。その人夫達(田戸)の石風呂など各所に石風呂を造つた。その時代に、ここ田戸は、「日の森」といわれ、今の石風呂あたりは、大木が繁つた森林であった。重源上人は、その大木を切つて運び出すために、三十人ぐらい連れて来たそうである。その木切人達の身体の疲れを取るために、ここに石風呂(岸見の小型)を造つたとの話である。(この時代八九〇年前のことになる。?)その時の人夫の見張り役に、田嶋家の先祖である湯野の「二本差し武人」が来ておられた。

《重源上人は、建永元年(一一二〇)六月四日享年八六歳で死没》このことから「田戸の石風呂を重源上人が造つた。」話は、おかしい。(田戸石風呂保存会)

公民館からお知らせ

お世話になりました

前和田支所長補佐

熱いぞー和田魂

河村 譲

わすか一年間でしたが、お世話になりました。

当初は、和田の状況が分からず、右往左往する状態でしたが、多くの皆様から温かい言葉をかけていただき、心と和魂を感じ、大変感激いたしました。

今、地区は高齢化、過疎化など多くの問題を抱えています。この和田魂があれば、必ず皆様に感謝すると共に、また和田のお役に立てればと思つていきます。

前和田公民館主事 小林秀行  
支所から引き続き二年間公民館でお世話になりました。皆様方の温かいご指導をいただき、充実した日々を過ごさせていただきました。このすばらしい、和田地区の益々のご発展と皆様方のご健康を祈念いたしお礼の言葉に換えさせていただきます。有難うございました。よろしくお願ひします。

和田支所 山本義博  
四月から和田支所でお世話になります。

生まれ育つた和田で仕事をさせていたただくことを、本當にうれしく思つております。

微力ではありますが、和田地区の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。

和田公民館主事 藤岡和夫  
四月から公民館で再びお世話になることとなりました。

皆様方のご支援のもと、親しみやすく気軽にお立ち寄りいただける公民館を目指して頑張りますので、以前にましてよろしくお願ひ申し上げます。

- つくし園嘱託職員募集
- ◎募集人員 一名
- ◎月額 15万円
- ◎社会保険・賞与あり
- ◎業務 調理業務
- ◎詳しくはつくし園まで

TEL 67・2131

和田の人の動き(3月1日現在)  
世帯数 724世帯(△5)  
人口 1,732人(△6)  
うち男 823人(△1)女 909人(△5)  
( )内は対前月比  
65歳以上 638人  
お誕生おめでとうございます。  
藤井 俊輔(3月11日平木)  
お悔やみ申し上げます。  
友田 松子(3月7日平木)  
田中 幸一(3月24日埴の畑)